

5月17日 受信 04.12 09.40  
 談了 11.15 08417  
 電 作 概



五 一七 受信 〇四一〇二 譯了 一一一五 電 〇八〇一七 作 密

三 二 根 卜・兩比航空隊

大海參一部・聯合艦隊口・一航空艦隊口

機密第一五一〇一一番電

發 南西方面部隊長官

一 五月十一日 〇〇三〇岡田美誠ノ率イル第三十二特別根拠部隊水上

別攻撃隊ハ折カラノ豪雨ト暗夜ヲ利用敵艦艇群ニ突入其ノ二隻ヲ

撃沈セルハ武功顯著ナリ

三 海軍中將瀨谷實之介ノ指揮スル三二機根第二大隊第二中隊ガ連日熾

烈ナル砲撃ヲ下有カナル敵ト激戦ヲ交ヘ克ク其ヲ死守敵ニ大損害

ヲ與ヘ全隊作戰ニ寄與セルコト多大ナルモノアリシハ其ノ功績顯著

九二六九 五一八十八 (五〇八五九) 高雄空基地

合符 (三五)

昭和廿年五月拾八日

5月15日 信始了  
受訳訊  
8841  
15.03  
16.10  
18.40

電 07681  
概本本  
作航参



緊急

五 一五  
受信一六〇三  
譯始一六一〇三

譯了一八四〇  
電〇七六八一

作航本  
本〇

昭和十五年五月拾六日

三二根戦闘艦着信艦所  
大海参一部・聯合艦隊中

變密第一五一二四六番電  
二分ノ一二

三二K B 戦闘艦隊第一八號(十五日)莫ノ一  
一陸軍最高指揮官ノ命ニ依リ「ミンタル」方面ニ主力撃滅ノ目的ヲ以  
テ「外州」ニ向ク出發トシム  
右ノ大部(旅團長ノ指揮スル二箇大隊)ハ右岸地區ニ移動セリ左地  
區ハ本職陸軍ノ一部殘留中隊ヲ併シ指揮ス  
三海軍陸戰兵力左地區三箇中隊半右地區六々中隊(内二々中隊ハ左地  
區ヨリ増援ノモノ)複廓陣地三々中隊(兩非空地區)  
通八三八二 呂一五ヲ十八 (一五七〇) (三二二) 田中(阿波)  
八三八二 呂一五ヲ十八 (一五七〇) (三二二) 長谷川

Handwritten mark resembling the number '13'.



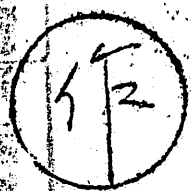
三 左地區正面ノ敵兵力ハ約一箇大ニシテ第二大隊附近ニ在リ我ハ之  
 ニ果敢ナル反撃ヲ加ヘ依然主陣地ヲ確保シアリ 第一航空基地及  
 サカ地區ニハ未ダ 敵ノ 滲透ヲ 許サズ 敵ノ第一航空基地侵入ノ  
 企圖明ナル現状ニアル處陸軍兵力大部ノ引揚ハ左地區ノ兵力ノ配  
 備ニ大ニ影響シ時ニ海軍ハ邀撃態勢ノ均衡ヲ失スルコト甚シク海  
 軍部隊戦局極メテ重大ニシテ敵ノ積極的攻勢ニ對シ陣地縮少已ム  
 ヲ得ザル實情ニ至レルモ寡兵敢闘海軍部一丸トナリ益横軍ノ傳  
 統ヲ發揚敵ヲ陣前ニ擊碎セントス。

電 07504  
作概  
航本  
參本

5月 15日 信  
受 誤 始  
誤 誤 了

15. 35  
16. 00  
17. 50

緊 急



五 一五  
受 信 一 六 〇 〇  
譯 始 一 七 五 〇  
電 〇 七 五 〇 四  
參 航 作 概  
本 本 〇

昭和廿年五月拾六日

● 三三特根戰團概報兼信艦所  
● 大海參一部・聯合艦隊口

機密第一五一三一六番電 二分ノ一

三三警備部隊戰團概報第十九號(十五日其ノ二)  
五月十四日夕刻敵輸送船團バルト島東方ヲ北上トノ警報ニ接シ海上  
攻隊第三攻隊隊(指揮官大尉松井武義)一番隊ニ變遷ヲ命ジ襲撃隊  
揮官少尉岡村興三太ハ雷裝大發三隻ハ艇長一番艇一曹池田忠文ニ  
艇上等兵曹有本イウ三三番艇一等兵曹野口市次(ヲ率キ十四日正  
午)バナカン)基地發〇二三〇迄ダバオ沖合ニテ敵輸送船團ヲ求メテ  
索セシモ發見スルニ至ラズ指揮官ハ「夕口モ」灣ノ敵艦船ノ奇襲ヲ  
意シ折柄ノ驟雨ヲ利用〇三〇〇泊地ニ突入。

(一)電信課註 本電二分ノ二未着)

通 八 三 九 七 月 一 五 七 一 〇 卅 二 通 半 澤 (猪 狩

5月15日

電 07554

984T

受信始了  
受訊了

15.10  
16.10  
17.30

概本  
作参

緊 急  
五 一 五



受信始一六一〇〇

譯了一七三〇 電〇七五五四

参作  
本概

昭和廿年五月拾六日

三二根 鐵 鋼 鐵 報 着 信 處 所  
大 海 參 一 部 機 合 處 設 中

機密第一五一三一六番電 二分ノ二

敵船三隻 三ノ認メ之ニ内 迫撃撃ヲ決行（魚雷六本發射）二回ニ互  
リ 爆發音ヲ聽取セシモ 第二號 掃海艇ニ敵ノ 照明彈及 銃撃ヲ受ケ續  
テ 魚雷艇ノ 追跡ヲ受ケ 戦果ヲ 確認スルニ至ラザリシモ 敵 艦船二隻（内  
一隻 不確實）撃沈セシモノト 認ム 偵探官艇未歸還。

（電信課註 本電二分ノ一既配布）  
通八三八三 呂一〇ヲ十七（一五七一〇）三二通 今村（木下）

Handwritten signature or initials

3月17日  
2821

受信  
03.48  
12.25  
13.57

電  
概本  
作參

08494  
08495

比

後

三一七

受信〇三四八  
譯始一二二五

譯了一三五七

電〇八四九四  
〇八四九五

參作  
本概

昭和五年五月十八日

作

南西方面部隊情報着信機所

機密第一五一五二五番電三分ノ二

三一七 通信隊

ルソン戦況

一「バギオ」方面

(1)「バギオ」方面ノ敵ハ戰車(約一〇)ヲ伴フ步兵約一〇〇ヲ「アコ  
ツブスプレス」(一四軒「バギオ」ポンドツク街道上バギオヨリノ軍  
程ヲ示スニ地點)ニ進出「タキアン」(一二軒地點附近)ニハ迫撃  
砲二一三門一七三二高地(一二軒地點南方)ニ長迫撃砲三一四門ヲ  
配シ我が第一線陣地(二五軒地點附近)ヲ砲撃中又從來物糧投下中  
ナリシ「カパンガン」(四〇軒地點西方一五軒ニ侵入セル敵正規軍  
約六〇「シムコフ」比軍ヲ合同「アトツク」(四〇軒地點西方約五

通  
九九三  
六四九

呂一八ヲ十八(五〇八五)高地 村尾・小田切(小林)

料) 方面進出スル企圖ヲ有スルモノノ如シ

(ロ) 盟兵團ノ第一線ハ一五籽地點ニ在リ敵ト對峙中司令部ハ近々現在地

三九籽地點ヨリ二九籽地點ニ進出アトツク方面米菲軍ノ我軍背後地

進出ヲ豫期シ之ニ備フ豫定

(ハ) 旭兵團(司令部ハヘンゲツト礮山ニ在リ)ハ二一籽地點東方ニ配備

附近狀況變化ナキ模様。

電信課註 本電三分ノ三未着

5月17日  
682T  
受信  
始了

03.02  
09.00  
10.00

電 08410  
作概

五 一七  
受信  
始 〇〇九〇〇二  
了 一〇〇〇  
電 〇八四一〇

南西方面部隊情報着信箇所

機密第一五一五二五番電 三分ノ三

ニセルバンテス方面スヨ方面ヨリ逐次増強中ノタクボ米菲約二千ニ對シ虎兵團ハ五月上旬以來約二週間ヲ作戦期間トシ一部兵力ハ聯隊長指揮一大隊半ヲ以テブタクハタクボ西方六村ハ南方ヨリ進出セルバンテスハ配備部隊ト呼應一帯ニ之ヲ夾撃殲滅スベク作戦中ニテ機密通達中ナルモ詳細不明  
三其ノ他通信連絡不如意ノ爲狀況不明。

通九三三三  
一八(五)八五〇一  
高空基地

本一見

昭和廿年五月拾八日

作概



5月15日 1740

電 07787  
07788

328

作

緊 急

五 一六五 受信 〇〇三三〇〇 一六譯了〇七〇〇 電 〇七七八八七  
〇七七八八八 昭和五年五月廿七日

① 二二根 戰團概報着信處所。南西方面艦隊口  
② 大海參一部。聯合艦隊口。二二根。二二根。二二根。

機密第一五一八一二番電 二分ノ二

三二警備部隊戰團概報(第二〇號)一十五日其ノ三

戰訓所見

作 参

一 海陸協同シ防衛ヲ實施スルハ念島ニ於テ海陸吻合ノ兵力極限ハ最モ  
望マシク萬一ノ場合海軍獨自ニ於テモ陣地ニ缺陷ヲ生ゼズシテ戰團  
二 陣地ハ海正面ニ對シ縱深的ナルノミナラズ海岸主道階ニ對シ縱深的  
三 陣地ヲ必要トス 今次戰争ニ於テ敵ハ「クタバト」上陸以來我ガア

受信始了  
受訊訊  
陣地ヲ必要トス 今次戰争ニ於テ敵ハ「クタバト」上陸以來我ガア  
ヒス航空基地ヲ衝キテ「コタバト」街道ヲ突破更ニ「デゴス」街道

通 八六一三 呂一Bラー一八一七八五KG一三二源 小宮 藤井(増田)

90

子急進シテ一タバオニ侵入一部堅固ナル水際陣地ヲ無効ナラシメ  
 タルハ敵ガ我ガ海正面ニ對スル強靱ナル防禦正面ヲ避ケアリ主道路  
 ニ對シ横深陣地手薄ナルニ乘ジタルニ依ルモト認ム  
 三海上特別攻撃隊ノ基地ハ數個所ニ設通信装置其ノ他ニ機動性アラシ  
 ムルヲ要ス一タカブリ一灣基地ハ敵ノ急進ノ爲基地移動ニ回シ及ビ  
 たり。

5月15日  
2721  
受信了  
後訊了  
訊了

23.34  
04.20  
05.15

電 607711  
607712  
作 概  
参 本

緊 急

五 一五 受信二三三四 譯了〇五一一五 電〇七七一一  
譯始〇四二〇 〇七七一一

昭和廿年五月拾六日  
作 概  
参 本



三二根戰團概報着信艦所・南西方面艦隊  
大海參一部・聯合艦隊口・二三根▽・二三根▽・二六根▽

機密第一五二一〇三番電 二分ノ一二

三二警備部隊戰團概報第二一號（五月十五日其ノ四）

一タバ才方面

高

(1) 敵ハ我方海軍右岸地區部隊主陣地砲臺（第三飛行場北方 地）ニ向

ヒ昨十四日午前午後ニ亘リ熾烈ナル砲爆撃ノ後戰車裝甲車ヲ伴フ一

個中隊ヲ以テ攻撃シ來リシモ敢然之ヲ擊退今朝來激戰展開中前線ノ

士氣極メテ旺盛ナリ

八六三二  
八六三五

呂一ヨラ十八（七八五五）三二通

中野 高橋（川口）（一）

92

(四) 左岸地區ノ敵ハ「タバオ」市北方高地ニ「トーチカ」其ノ他陣地

構成

ニミンダナオ方面

(イ) カタロモ艦襲撃ハ既報通り

(ロ) 〇九〇〇小型上陸用舟艇一〇サマール島西岸ニ兵力ヲ揚陸後海口

方向ニ去ル

三十四日迄ノ海陸軍綜合戦果

人員殺傷二四五二 撃沈船送 船四隻(内一隻不確實) 飛行機撃墜

八機撃破四機 戦車六 装甲車八 車輛七三。

73

電 08427  
作 概

5月16日 受信始了  
21.31  
00.10  
03.50



五  
一七六 受信二〇一三一  
譯了〇三五〇 電〇八四二七 作 概

昭和五年五月拾八日

三二根戦闘概報着信艦所・南西方面艦隊口  
大海参一部・二二、二三、二一各根下・聯合艦隊口

機密第一六一四五六番電 二分ノ一

三二警備部隊戦闘概報 (第二二號) (五月十六日其ノ一)

三二警備部隊戦闘概報 (第十六號) 三二警備部隊戦闘概報 (第八二號)

「艦船撃沈二(内一不確實)」トアルヲ「驅逐艦一撃沈輸送船一

撃沈確認」(指揮官艇歸還者ノ目撃ニ依ル)ニ改ム

三十五日〇〇三〇「夕口」灣内ノ敵艦船ヲ攻撃ノ雷装挺身隊發進

シタル所未歸還ナリ指揮官艇(指揮官岡村少尉)ハ襲撃後魚雷艇

ノ攻撃ヲ受ケ舵索切斷第二飛行場南方海岸ニシ揚ゲ艇具ハ敵銃

火ヲ冒シ海岸ニ沿ヒ敵中横斷バ 基地十六日〇五三〇歸投(岡

通九二〇一 呂一Bヲ十八(七八五五五)三十二通 鈴木(川崎)

村少尉未歸還（左記判明ス）

(イ) 戦果六ノ通

(ロ) 第二飛行場ノ敵重砲ハ北側ニ各二門

(ハ) 敵ハ「サンタナ」棧橋ノ使用開始セルモノノ如シ内火艇四隻横附

シナリ。

(ニ) 電信線註、本電二分ノ二既配布

95

電 08257  
作 概

作

至 無

一七六

受信〇二一五〇  
譯始〇二一五〇

譯了〇三一二五  
電〇八二五七

作 概

三 一 通 信 隊

三 二 通 信 隊

大海參一部。聯合艦隊

機密第一六一七一七一二番電

三二二K B 指揮官

宛 南西方面艦隊司令長官

五月十五日海軍少尉岡村與三太(ホ六三八九)ノ指揮スル海上特攻一

大發三艇長池内一曹(吳徴水第三七四五號)有長上曹(吳志水第三

三四五三號)野口一曹(佐徴水第一五五一九號)一ヲ表彰セリ

理由時刻〇三〇〇驟雨ヲ利用一夕口モ一灣新陥地ヲ強襲船舶三艘艇三

ニ肉迫雷撃ヲ決行驅逐艦一艘沈没輸送船一大傾斜擊沈敵魚雷艇ノ追跡ヲ

受テタルモ内二隻悠々還増糧官艇ハ敵魚雷艇ノ銃撃ノ爲絶索切斷已

通九二〇三 呂一五十八(七八五五K)ニ二通 末光(松山)ノ

5月 16日 17日  
9時 受 訊 訊

昭和廿年五月拾七日

ムヲ編ズ海軍ニノシ揚乘員ハ敵背後ニ上陸敵情ヲ詳細偵察シ有効ナ  
 ル報告ヲ提出セリ指揮官ノシハ未歸還ナリ  
 右ハ全ク沈没豪雨海軍傳統ト名譽ヲ發揚シ全軍ノ士氣ヲ昂揚セル所  
 極メテ大ニシテ武勳時ニ顯著ナリ。

(2)

27



昭和廿年五月拾八日

五一六 受信二二〇九 譯了〇九〇〇 電〇八三六九 作概・參本  
譯始〇〇三二

至急

三 一 通 信 隊  
三 二 通 信 隊



高雄通信隊・聯合艦隊口  
機密第一六一七一七六番電

宛 南西方面艦隊司令長官

通報 大海參一部

電 08369

作概 參本

信 2209  
始 0032  
了 0900

5月 16日

受 訊  
訊 訊

8541

五月十五日兵曹長阿波野勝敏（ホセ〇〇七）ヲ含ム一四名ハ命ニ依リ一  
且「マテナ」水際陣地ヲ撤收セシモ十一日敵中突破再度舊陣地ニ就キア  
リシ處時恰モ同夜敵艦船攻撃ニ成功セル海上特攻隊員ノ一部（四名）ノ  
來着セルヲ收容十三日全員「夕口モ」附近敵揚陸地點ニ斬込ヲ決行水陸  
兩用戰車一加農砲一幕舎一爆破炎上人員殺傷四〇ノ大戦果ヲ擧ゲタリ指  
揮官以下損害一一名（内五名戦死ヲ生ジタルモ二名ヲ除ク他ハ悠々友軍  
陣地ニ歸還セリ右ノ行動ハ海軍傳統ノ攻堅精神ヲ遺憾ナク發揮シ武勳顯  
著ニシテ全軍ノ士氣昂揚ニ資スルトコロニ至メテ大ナリ。  
（九二〇）本電誤字多ク（七八五五）廿二通 宮崎（小林）

5月17日 至急

受信 21.10  
始了 08.00  
誤了 09.15

電 0.8373  
概本  
作參

作

五  
急 一六  
七

受信 〇二一〇〇〇  
始了 〇八〇〇〇

了 〇九一五 龍 〇八三七三

本  
作

昭和廿年五月拾八日

三 一 通・東通  
合艦隊口

機密第一六一七二四番電

三二 警備部隊指揮官

宛 南西方面艦隊司令長官

通報 大本營海軍參謀 第一部長

五月十六日 B N 二三 機密部隊 (大三中) 長陸軍少尉山田敏光以下全員

ヲ表彰セリ

山田少尉ノ指揮スル二十粒銃群 (八門) ハ「デゴス」復 廓陣内

ニ於テ猛烈ナル砲撃ヲ行ヒ敵步兵ニ集中射撃ヲ

浴ビヒ人員殺傷二五〇ヲ超ユル戦果ヲ擧グ敵害被銃一戦 死二。

通九一八七 白一Bヲ十八 (七八五五〇) 三二通 和田 (山崎)

99

5月17日  
受信  
094T  
20.10  
21.10  
22.50

電 08718  
作 概 0

外

作

五  
一七  
受信  
始 二一〇一〇〇

譯了二二五〇 電〇八七一八 作 概〇

三 一 通

昭和廿年五月拾八日

機密第一六一八二二番電

第三二根  
大海參一部・聯合艦隊口

發 南西方面艦隊長官

陸軍少尉村岡幹ノ指揮スル第三十二特別根據地陸軍特設中砲小隊が優  
勢ナル敵ノ攻堅ヲ其ノ都府陣前ニ擊碎スルト共ニ果敢ナル勇達ヲ反覆  
シ小隊長以下死傷續出スルニ拘ラズ勇戰敢闘大ナル戰果ヲ擧ゲツツア  
ルハ大ニ可ナリ。

通九七五三 呂二〇一五〇八五KC 高雄 島田(藤田)

5月16日 17日  
1751  
受信  
受談  
了

電 108484  
作 08485  
本

22.36  
08.05  
10.35

作

至急  
五  
一七六  
受信二二〇三六  
譯始〇八〇五  
譯了一〇三五  
龍〇八四八四  
〇八四八五  
參作  
本〇

東

通

三

二

通

機密第一六二〇〇三番電

二分ノ一二

發 第百師團長

宛 陸軍參謀次長

通電先 次長 尙武 豹?

十五日狀況

一、昨十四日我反響ニ依リ攻撃頓挫セシ南側本朝來戰車數輛ヲ伴ヒダバオ

川右岸地區ニ對シ熾烈ナル砲爆響ノ下攻撃ヲ再興シ來リ之ニ對シ果敢

ナル反響ヲ實施シ敵ニ相當ノ出血ヲ與ヘタルモ我損害ヲ蒙リ再ビ陣地

一角ヲ敵ニ委ヌルニ至レリ但大勢ヲ左右スルモノニアラズ

通九二一五〇  
呂一Bラ一八(七八五五)三二通  
秋葉(松井) 1

昭和廿年五月拾八日

101

二、西軍ニ依ルダバオ河港地區陸軍部隊主力ノ同河右岸地區ヘノ集結ハ

明十六日完了ノ豫定ナリ。

三、敵輸送船一隻未ダ「夕口」沖ニ碇泊シアリテ數隻ノ艦艇ハ「夕日

沖」ヲ游弋シアリ。尙昨十四日夕刻敵輸送船十數隻ハ「バルト」島南

ヨリ北方ニ進行中トノ報告アリ其ノ後ノ狀況不明ナルモ「デゴス」

近ニ上陸セルモノト判断セラル。

102

5月 16日  
1753

受信  
受談

信始  
了

23.00  
07.45  
09.45

電 08401  
概本  
作航  
參本

五  
一七六  
一七六  
受信二七〇〇  
始〇七四五

譯了〇九四五  
電〇八四〇一

作航  
概本  
參本



三三根戰團概報着信儘所・南西方面除隊  
大海參一部・聯合除隊「二三、二三、二六各根」

機密第一六一〇三一番電

三三警備部隊戰團概報第二三號（五月十六日其ノ二）

一、夕バ才方面敵砲撃ハ第一飛行場方面ニ指向サレ始メタリ海軍陸地

正面依然確保シヤリ右岸地區必勝臺南端ノ敵ハ三大隊ノ數度、墮退

ニ依リ突撃企圖ヲ一應放棄セルモノノ如ク後退ヲ開始セリ三大隊

ハ右側陸軍陣地（夕日）右方ニ突撃セル敵ニ對シ嚴戒中

ニ海上方面

(1) 敵艦隊ハ一五ノ敵艦隊一五ノ敵艦隊ハ一五ノ敵艦隊

間水際陣地一帯砲撃

九一四六 呂一Bラ一八（七八五五）三二通 半澤（小澤あ）

昭和廿五年五月拾八日

(6) 一〇〇一四〇〇敵魚雷艇二「サンオ」ガステン「見張所附  
 近詳細偵察戰艦機二、共ニ熾烈銃砲撃ヲ加ヘ來タルモ交戦暨退  
 却一六四五夕口モ樁橋横附ノ敵小型上陸用舟艇七輸送船小型ニダ  
 ハ才灣内遊曳中驅逐艦一掃海艇三。

104

5月17日 受信了  
14.30  
15.40  
17.12

電 8622  
作 概

五 一七  
受信一四三  
開始一五四〇〇  
譯了一七一二  
電〇八六二二  
作 概〇



● 南 西 方 面 艦 隊 P  
● 二六航空戦隊 P・三二根 P

機密第一七一〇四二番電 二分ノ一

發 南非空司令

現狀申告(五月十五日)

人員(准士官以上)上下士官兵一箇ニ配備

(1)本部(四八・七四九)ハフドツク地區一陸戦隊一箇大隊ヲ編

成本職直率主トシテ複廓陣地守備ヲ擔當ス内一箇中隊(四・九

七一)ダバ才河右岸高地ニ配備ス

源九五八八 島一日(一五七一〇) 一三二二 星野(小幡キミ)

昭和廿年五月拾八日



(ロ) トリー派遣隊 (五・九一) (トリータモガン北西五軒) 豫備通信  
基地トス

(ハ) 第二タバオ分遣隊 (一一・三六三) (タロモ北方高地) 連日訓練  
中

(ニ) デコス分遣隊 (一二・三〇〇) 敵ト一戦後タバオ集結ヲ命ゼラレ  
轉進中。

〔電信課註 本書二分ノ二未着〕

106

昭和廿年五月拾八日

五 一七

受信一六三八 譯了一九二八 電〇八六三六

作概〇

緊 案



南西方面艦隊P

タバオ第一航空基地

二六航 戦P・三二根P

機密第一七一〇四二番電 二分ノ二

(ホ) サランガ 分遣隊(六、一一〇) 陸戦配備中

(ワ) バレンシヤ分遣隊(一二、二五五) 所在陸軍部隊ノ指揮ヲ承ケ陸戦

配備中

(ト) ザンボアンガ分遣隊(三六、一一五九) 水口派遣隊(二、一三〇)

ボンガオ派遣隊(一、三〇) ニ關シテハ其ノ後依然通信杜絶狀況不明

陸戦兵器皆無ニ近キモ若干ノ噴進砲並ニ航空用機銃ヲ主体トシ爆彈

手榴彈其ノ他肉攻兵器等ヲ自製シ全員士氣旺盛敵艦ヲ期シアリ。

電信課註 本電二分ノ一既配布

通九六七二

呂一五十八(一五七一〇) 三二連

相澤(川口)

電 08636  
作概 〇

4541  
16.38  
18.03  
19.28

5月17日  
受信了  
受訳訳

107

8941  
 5月 21日  
 受信了  
 01.15  
 04.20  
 05.10

電 10235  
 作概



至 急

五 二 一  
 譯受  
 始信  
 〇〇 四 一 一 五

譯了〇五・一〇 電一〇二三五 作 概

昭和五年五月廿五日

感 狀

マニラ海軍防衛部隊ツカ兵曹長熊谷秋示ノ指揮スル斬込隊  
 右ハマニラ防衛戦闘ニ際シ和年二十年二月九日夜半隊長以下八名ヲ以  
 テ斬込ヲ決行敵陣深ク侵入敵正規軍宿泊所近ニ第五隊ニ至ル地ヲドラ  
 ム罐一二連迫撃砲二 八連迫撃砲四ヲ破壊敵兵數十名ヲ殺傷更ニ敵將  
 校ノ圖襲ヲ奪取シテ歸還シ作戰上有利ナル資料ヲ提供ヒルハ其ノ功績  
 通一一四五七 天一〇ラ十二 (四七四二五〇)一A F 戸田(阿波)

機密第一七一一五五三番電

北 菲 空  
 大 菲 島 部 隊 各 長 一 部 隊  
 非 島 部 隊 各 長 一 部 隊

100

顯著ナルト共ニ其ノ冷靜沈着ニシテ勇敢ナル行爲ハ以テ軍人ノ鑑  
スルニタル  
依テ茲ニ感狀ヲ授與ス

昭和二十年五月十七日

南西方面艦隊司令長官

大川内 傳七

109

092T  
5月19日  
受信  
20.12  
21.45  
22.25

電 09662  
作概

五  
一九  
受信二〇一二  
譯始二一四五  
譯了二二二五  
電〇九六六二  
作概



北 菲 空  
大臣・聯合艦隊司令官・佐人專部  
總長・海護總口・菲島部隊各ト

機密第一七一五五七番電

感狀

第九〇一空海軍上等整備兵橋口幸才（佐志整一一四〇〇）海軍一等

機關兵才ガ常一郎（佐二國機二二一九八）

右ハマラ防衛戰團ニ際シ敵ガ「マカ子」附近架設セル軍橋爆破ヲ命

ゼラルルヤ昭和二十年二月十一日夕刻通船ニ爆藥ヲ満載「バシツ

ク」河ヲ流下シ橋梁脚ニ通船ヲ固縛爆破該軍橋ヲ完全ニ破壊セリ。

通一〇三八 天Bラ十二（百〇八五）高地空基地 清水（石井）

昭和廿年五月廿五日

5月23日 1941  
 受信 20.01  
 誤読 20.30  
 了 22.45

電 11468.  
 作概

作

至 急

五 二 三  
 受信 二〇〇三〇

了 二二四五

電 一一四六八

作 概

昭和廿五年五月廿七日

北 非 航 空 隊

大臣・海軍總長・聯合艦隊司令長官・非島部隊  
 總長 各集合同管理官・佐世保人事部

機務第一七一一五五八番電 八分ノ八

集結セル米軍方同河以北ニ

右軍橋ハ「バクリグ」河以北ニ兵力ヲ移動我マニラ海軍防衛部隊ヲ包  
 圍攻撃セントシテ架設セル要所ニシテ右特攻隊員ノ鑿破作業ハ爾後ノ  
 作戰ニ資スル所甚大ナルモノアリ且兵ノ沈着勇敢ナル行爲ハ以テ軍人  
 ノ鑑鑒トスルニ足ル依ツテココニ感狀ヲ授與ス。  
 昭和二十年五月十七日

一電信課註 本

八分ノ八

南西方面艦隊司令長官

大川内傳七

原一

5月19日  
受信  
始了

2921

18.23  
21.20  
23.03

電 09661  
作概

至 一 九  
急

受信一八二三  
開始二一二〇

譯了二三〇三

電〇九六六一

作 概



北菲濠水隊・一航空艦隊

大臣。聯合艦隊口。菲島部隊各指揮官  
總長。吳人事務部

機密第一七一五五九番電

感狀二〇一海軍航空隊海軍二等兵曹池畑正一（吳徵水四三二六九）海  
軍一等整備兵伊服部重木（吳二補整七〇三二）右ハマニラ防衛職團ニ  
際シ敵ガ「マカチ」附近ニ架設セル單橋爆破ヲ命ヅラレルヤ昭和二十  
年二月十二日便衣ヲ纏ヒ彈雷ヲ持シ碇泊力ヌーニ乘艇流下シテ敵ノ單  
橋ニ潛航之ヲ爆破セリ。

通一〇七八三

天一〇ラ一二

（一〇一七〇）

（KC）

高空 相澤（松山瑞）

昭和廿五年五月廿五日

昭和廿五年五月廿七號

至 五 二〇 受信 〇〇二〇〇 講始 〇四三〇〇 譯了 〇六〇一 電 〇九七八〇 作 概



北非航空隊・一航空艦隊口  
大臣。聯合艦隊口。非島部隊各口。吳人事部

機密第一七一五五九番電 其ノ二

電 09780  
概 作

8921

02.00 創意工夫ノ下沈着果敢良ク其ノ任務ヲ達成トルハ其ノ功績顯著ナルト共  
04.30 ニ其ノ勇敢ナル行爲ハ他ノ艦艇トスルニタルニ依ツテ茲ニ感狀ヲ授與ス  
06.01 信始了昭和二十年五月十七日

「電信課註 本電其ノ一及其ノ三以下未着」  
通一〇九七三 夫二Bラ十二(四五七三、五KC)高二放大内(新井)

南西方面艦隊司令長官 大河内傳七

113



人

電自 08771  
至 08773  
作概

1941  
23.05  
00.14  
01.53

5月 17日  
受信了  
受誤訊

五  
一八七  
受信始 〇三〇五  
〇〇一四  
譯了 〇一五三  
電自 〇八七七  
〇八七七  
〇八七七  
作概

至  
急  
二  
警

一二三級戦闘機着備場所

機密第一七一一八二九番電 四分入一三四

戦闘概報 五月十七日

一 昨十六日朝來飛行場北東方面ノ我一線ニ對シ戦烈ナル迫撃砲發銃  
等壓倒的火力掩護ノ下當地陸上戦闘開始以來最大強壓ヲ加ヘ來ル  
手同地守備ノ吉永中尉ハ全員勇戦敢闘一旦之ヲ擊退シタルモ一部  
ノ陣地ヲ整理スルノ止ムヤキニ至ル

ニアマル地區ニ對スル

一以下四分ノ三四

通九八三

天二Bケ六 (六一二三五) (二二三) 遍

村尾・才木  
青木 (阿波)

昭和廿年五月拾八日

114

四 敵機來襲ハ二、三日來平均延四五機程度ナルモ未明ヨリ薄暮ニ至  
 ル間常時在空中シ攻襲及偵察シツツアリ  
 五 戰果（既報除ク）人員殺斃一三二 破壊自動貨車三 輕機二爆碎  
 幕舎三物資集積所二ヲ鹵獲ス 携帶無線機三 輕機小銃彈藥等若  
 干ノ損害（既報分ヲ含ム）戰死准士官以上一二名 下士官兵一九  
 ○名 戰傷准士官以上四名 下士官兵一八一名 不明ナル准士官  
 以上二名 下士官兵六一名

（電信課註 本電四分ノ二未着）

5月 18日 994T  
受訊 信始了  
00.30  
01.20  
03.30

電 08793  
概本  
作參



緊 五 一八  
急 受信 〇〇三〇  
講始 〇三〇〇  
〇三三〇  
〇八七九三

三二根戰團機着信所・南西方面

大海參一部。聯合隊口。二二根。二三根。二六根。

機密第一七二三〇四番電

三二警備隊戰團機報第一四號（五月十七日）

ニダバオ方面

敵へ第一飛行場方面ニ對シ熾烈ナル銃砲爆撃ヲ續行スルト共ニ

本日一二〇〇ダバオ市東方七軒附近ニ装甲車二輛ヲ伴フ敵約四〇

名侵入交戦中敵へ更ニ有力ナル部隊ヲ以テ第一飛行場攻め或ハ北

上ヲ企圖セルモノノ如ク嚴戒中

四〇六四〇海軍各砲台ハ第二飛行場ノ南北兩砲兵陣地ニ對シ火力集

通九八五六 呂一〇ラ一八（一五七一〇）一三二通 片山（小幡）

昭和廿年五月拾八日

參作 本概

中北部重砲陣地ヲ沈黙セシム敵ニ與ヘタル損害大ナルモノノ如シ

ハ十六日戰果人員殺傷一八六破壊倉庫舎二機銃一爆碎ロケット彈五〇

八發

ニ海上方面

(イ)〇八五〇夕口モ泊出港ノ敵驅逐艦一隻上陸用舟艇三隻サマル島北

端ヲ北上セリ

(ロ)〇九〇〇夕口モ橋樑横附ノ敵輸送船二隻投錨驅逐艦一掃海艇二隻

屯中驅逐艦五掃海艇一

5月 18。 894T  
(陸軍より接受)

電 { 08891  
08892  
作概 0  
航本

五 一 八

(陸軍ヨリ接受)

電 〇八八九一  
〇八八九二

作概 〇

昭和廿年五月廿四日



聯合艦隊 參謀長

司兵電第二三三九號 其ノ一二

通電先 威野戰兵器長官

損耗機通報

一 三日飛行第二十六戰隊二式戦闘機二型第一九〇三號船團掩護ノ爲「  
コタバル」飛行場ヨリ「ベカン」ニ前准中滑油系統故障ノ爲「メル  
チヨン」附近ニ不時着大破ス

三 十二日第四十五教育飛行隊一式双發高尾給式機第一〇三七七號船團  
掩護中敵機ト交戦被弾「ケママン」南方約三軒ノ密林ニ不時着大破  
ス

通 九九九九一  
九九九九二

(松山)

昭和廿五年五月拾九日

五 一八 受信 〇〇八五〇〇八 譯了 一四二〇 電 〇九〇二一 〇九〇二二 參作 本概

至 急 東 通 三 二 通

作

機密第一八〇一二一 番電 二分ノ二

電 (09021) (09022) 概本 作參

05.08 08.00 14.20

發 據兵團長

宛 陸軍參謀次長 通電先「大長」戰況 尙 豹

5月 18日 信始了 受訊訊

6921

通九三九 九五一九

呂一〇ラ一八 (七八五五〇) 三二通 志澤 (金森)

一、敵ハ依然「ダバオ」河右岸地區中第一線正面ニ主攻ヲ指向シ砲爆 擊支援ノ下ニ攻撃ヲ強行シ來レルモ之ヲ拒止シ戰線大ナル變化ナ シ敵ハ數輛ノ戰車ヲ第一線ニ使用セルモ突破基點トシテ之ヲ使用 シ現在ハ第一線歩兵ノ後方ヨリ支援射撃ヲ實施スルニ止メ殊ニ我

6 5月14日ヨリ16日迄、陸上戦果中主ナル  
左ノ如シ人員殺傷116飛行機撃墜5機戦車  
破壊3装甲車撃破1自動車破壊3幕舎炎上7  
加農砲破壊1。

挺進肉攻ヲ警戒シアルモノノ如シ

ニ「ダバオ」河左岸ノ敵ハ依然守勢ニアリ一般ニ敵ハ重點ニ着眼他

ハ極メテ値少ノ兵力ヲ以テ守勢ヲトリアリ我左岸陸軍部隊主力ノ

右地區ヘノ轉進ハ順調ニ進捗セリ

三、本日ノ來襲敵機ハT B D 一 六〇 B 一 二五 二五 F 四〇 一

三計八八機ニシテ近日中最少

四、十四日夕「ダバオ」灣ニ侵入セル敵輸送船六隻ハ補給及一部兵員

ノ補充ト判断ス

五、敵機ハ從來「ジョンストン島」ニ向ケ傳單ヲ散布シ官民離間ヲ策

シアリシガ本日戦線後方ノ邦人密集地區ニ銃爆撃ヲ敢テシ若干ノ

損害ヲ出セリ

六、五月十四日ヨリ十六日迄ノ陸上 戦 果中主ナルモノ左ノ如シ

人員殺傷一六飛行機撃墜五機戦車破壊三装甲車撃破一自動車

破壊三幕舎炎上七加農砲破壊一。